



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1

Tel: 03-3363-7561 | Fax: 03-3363-7562 | Email: info@peaceboat.gr.jp | <http://www.peaceboat.org>

核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) が 2017年ノーベル平和賞を受賞しました 2017年10月6日

ピースボートは2017年のノーベル平和賞を核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) が受賞したことを大変歓迎しています。ICANとは、100カ国以上にわたる450以上の団体のネットワークです。

広島と長崎の原爆が投下されてからの72年間、被爆者は自身が経験された恐ろしい出来事を語り続け、被爆者がもう生まれないようにと、核兵器の非人道性と核兵器廃絶を訴え続けてきました。

被爆者の方々の努力と、それによって動かされた人・団体・政府の努力の結晶として今年の7月7日には核兵器禁止条約が採択され、9月20日には署名が始まりました。

ICANは多岐に渡る多様なメンバーから構成され、市民社会を人道的核廃絶へと導き、条約制定へとつなげました。

今日の世界情勢の中で、今回ノーベル委員会が核兵器禁止条約の重要性、核なき世界への第一歩であるという事実、そして被爆者と市民社会が条約制定に欠かせない存在だったことを公認して下さったことを嬉しく思います。

「条約の重要性を公認するこの賞は、未だ条約に署名・批准していない政府を後押しすることになるでしょう。そしてICANのメンバー、市民社会の人々が核兵器廃絶に向けて努力を続け、禁止条約を新たな世界の基準として確立させ、核兵器が廃絶されるまでの後押しになるでしょう。」とピースボートの共同代表、ICAN国際運営委員である川崎哲が語りました。

日本を拠点に活動している国際NGOピースボートは、2008年より「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」を通して、被爆者とともに活動をし、ICANのメンバーとして運動前進に貢献してきたことを光栄に思います。

「今年、核兵器禁止条約が締結されました。被爆者が70年以上もの長い間願っていたことへの入り口にたどり着きました。この記念すべき年に受賞したことは意義深いことです。今までの私たちの証言がいささかでもノーベル平和賞受賞に貢献したのではないかと嬉しく思っています。」と16歳の時に広島で被爆者した三宅信雄さんが語りました。

連絡先：
ピースボート共同代表、ICAN国際運営委員 川崎哲

電話+81 (0) 90 8310 5370 メール kawasaki@peaceboat.gr.jp
ピースボート: <http://www.peaceboat.org> / www.facebook.com/peaceboat